



学園中長期経営計画に基づく

グローバル人材育成に向けて

— 小学校設置計画と留学生のための奨学金基金の設立について —

聖隸学園 専務理事 小柳 守弘

本学園では、2025年度までの第四次中長期経営計画を策定しました。これは、建学の精神であるキリスト教精神に基づいたこども園から専門職大学院（メティカルスクール）までの一貫したグローバル化の構築に重点を置いた計画です。学園一貫グローバル人材養成推進委員会を立ち上げ、こども園、小学校（2020年開設予定）、中学校、高等学校、大学、大学院、専門職大学院（メティカルスクール）の一貫したグローバル人材養成について検討を深めています。

2020年開設予定の小学校は、「英語を学ぶ」ではなく、「英語で学ぶ」英語イマージョン教育により高い英語力を養います。具体的には国語、社会、家庭科の一部を除き、英語で授業を行います。また、児童が中心となつて疑問を自ら解決する探究型学習により、グロー



▲セミナーでのぐんま国際アカデミー（英語イマージョン校）生徒との討論の様子

バル社会で活躍できる児童を育てます。6月30日には「将来の日本を担う子供たちへの教育」グローバル社会で活躍できる、聖隸での新しい日本人の育成」のセミナーを開催しました。ここではこれから的新しい教育のあり方、世界で通用する教育について多くの方に知つていただきました。今後、継続してこのような機会を設けていきます。

聖書のことば 聖隸学園宗教主任 永井 英司
神はモーセを召し出し、迫害に苦しむイスラエルの民をエジプトから導き出すように命じました。430年に及ぶ寄留生活から解放され民は、神が指示す「乳と蜜の流れる地」に向かって40年に亘る荒れ野の彷徨を開始するのでした。

ところが、脱出は果たしたものの、行く先々では様々な試練が彼らを待ち受けていました。深刻な食糧危機や先住民族との戦闘などが彼らの行く手を遮るのでした。

シナイ山を目前にして、モーセたちは遊牧民アマレクとの戦いに臨まねばならなくなりました。神の杖を手にしたモーセは戦いの間中、両手を掲げて祈り続けます。手を掲げている時は優勢になりますが、疲れて手を下すと戦況は逆転してしまうのでした。

その時です。疲れたモーセを支援しようとしたアロンとフルが立ち上がり、祈り続けるモーセを両側から介助したというのです。

神に委ねられた務めを果たしていくためには、絶えざる祈りが必要です。更に、その祈りを継続するためには陰で支える献身的な同僚者の存在を欠くことはできません。

聖隸学園の創立者たちによつて捧げられた神への祈りは、多くの人々により今日も継承されて、多くの実を結び続けています。祈りがもたらす実は無尽です。

アロンとフルは
モーセの両側に立つて、彼の手を支えた
(出エジプト17：10～13)

発行者
学校法人聖隸学園
聖隸クリストファー大学・大学院
聖隸クリストファー大学介護福祉専門学校
聖隸クリストファー中・高等学校
聖隸クリストファー大学附属
クリストファーこども園
〒433-8558
浜松市北区三方原町3453
電話 053(436)5311
<http://www.seirei.ac.jp>

こども教育福祉学科において
小学校教員養成が開始されます
(申請中)

(申請中)

多様な人々が支え合い、学び合い、育ち合うという地域共生社会を実現できる力をもつた専門職養成をこども教育福祉学科は目指して来ました。発達や家庭環境に課題がある子どもたちに対しても適切な支援・指導を行うために、ソーシャルワークの学びを活かしての保育・教育実践がでるべき人材を養成してきました。





ている連携・協働する「チーム学校」の概念を包含するものになるでしょう。さらにグローバル化が進み、地域社会において様々な言語・文化的背景を持つた子どもたちが増加する中、多文化共生社会を実現するための教員養成を目指したいと考えます。

加えて、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちが身に付けられるよう、教育課程に「国際バカロレア」関連の科目を設置することで、主体性や国際的な視点を持つた全人教育を推進する小学校教員の養成をも視野に入れています。

中・高等学校では、英数科において推薦入試ではなく一般入試で大学進学を目指すことに複数の不満意見が寄せられました。英数科での学習が大学入学後の学びに活きること、ひいては今後の人生を支える一助となることを従来以上に丁寧に伝えていきたいと考えます。また授業評価アンケートを通じた授業改善については、生徒の学力レベルと到達目標を意識した授業が行えるよう、具体的には、教員研修の充実、教育のICT化の取り組みにより改善を図っています。

2017年度 満足度調査結果より

ジョン・カミツカ氏のピアノコンサート および特別ピアノレッスンが行われました

聖隸学園では毎年、大学・大学院、中・高等学校および専門学校の学生を対象に満足度調査を実施しています。満足度が低い項目について、その重要度や緊急性を判断して、教育内容や施設設備を充実させています。大学では、学生からの改善要望が多いスマートフォンのWi-Fiへの接続について整備を進めます。現状は全ての教室にWi-Fi設備を導入し、個人用のパソコンについてもICTセンターにおいて登録することによりWi-Fi接続することができます。これまでは、ネット接続できる台数には限りがあるため、授業での利用を優先し、スマートフォンの接続は学生ホールでの利用に限定していました。今後はスマートフォンを授業や勉強で利用するニーズが増えることが予想されるため、スマートフォンのWi-Fi接続についても設備の増強を図り、ICT教育や自主学習の充実に繋げていきます。

ジョン・カミツカ氏コンサートの様子

5月30日(水)、31日(木)本学に隣接する遠州栄光教会三方原礼拝堂でジョン・カミツカ氏のピアノコンサートが行われました。カミツカ氏は故ダイアナ妃が主催したチャリティーコンサートにも出演したことがある世界的に著名なピアニストで「ヤマハ アーティスト」に選ばれています。今回、ヤマハ株より最新型グランドピアノ「S6X」をお借りしてコンサートを開催し、本学園生を含め、多くの人々がコンサートに参加しました。世界で活躍するピアニストの迫力ある演奏を間近で鑑賞し、カミツカ氏から溢れ出る音

▲ジョン・カミツカ氏



▲特別ピアノレッスンの様子



▲教会でのカミツカ氏コンサートの様子



▲ジョン・カミツカ氏

聖隸學園

インド聖隸希望の家と聖隸学園

昨年9月から12月までの3か月にわたり聖隸グループの海外法人の一つである「インド聖隸希望の家」代表のアブラハム・ヴァルゲーゼさんの子息ディルさんが、聖隸グループ各法人で福祉研修を行いました。障がい者や高齢者の施設での実習と見学の合間に、聖隸学園各施設で園児、生徒、学生との交流を図りました。



▲大学生との交流会でインド聖隸希望の家について説明をするディルさん



▲こども園園児の質問に答えるディルさん

期課程の授業に出席しました。聖隸グループではデイルさんの研修来日を機会に、希望の家で建設中であった新しい建物のための特別な支援募金をグループ全体で行いました。その結果、希望の家に145万5千円にのぼる献金をすることができました。今年3月には障がい者のための新しい建物の完成披露が現地で行われました。



▲記念式典の様子



▲インド聖隸希望の家の新しい建物

聖隸創立の精神の継承を目的に、
聖隸グループキリスト教信徒交流

A photograph showing a group of approximately 20-30 people, mostly women, gathered around several long tables in a large room. They appear to be participating in a craft or activity, as there are various items on the tables, including what look like small plants in pots and other supplies. The room has simple wooden paneling on the walls and a high ceiling.



▲昨年の信徒交流会の様子

介し、キリストの「選び」によつて
働いている聖隸グループの職員が
聖隸創立の精神を知り、継承してい
く必要性を語りました。

本年は10月13日(土)に、社会福祉
法人小羊学園が幹事法人となつて
開催されます。今年もまた職場や立
場の違いを超えて聖隸創立の精神
を共に学び、確認
し、次の1年の働き
きの糧とするこ
とができるよう
各法人から多く
の参加者が期待
されます。



▲十字の園 平井理事長



▲昨年の信徒交流会の様子

TOPICS

聖隸クリストファー大学

学長としての1年の振り返りと今後の展望

聖隸クリストファー大学 学長 大城 昌平



昨年度、「保健医療福祉の未来を創造する教育研究と実践のフロンティア大学」に成長することをビジョンに掲げ、中長期事業計画「未来創造躍進プラン」を策定いたしました。建学の精神を柱とし、保健医療福祉の総合大学としての強みを活かしたこと、新たな価値創造のため、①本学の独自性の強化、②地域との実践的な連携、③国際化の推進と貢献、④大学運営の基盤強化の諸事業を推進します。昨年度はプランに沿って、カリキュラム改定（地域・国際実践アカティープラーニング等の科目新設）、こども教育福祉学科の小学校教員養成課程の開設、看護学部の特定協定校の締結、浜松市との包括連携協定を基にした産学官民のプラットフォーム形成、新入試制度を見据えた高大連携の推進と入試制度改革などを実施したチャレンジングな一年でした。2018年度は、迅速にP D C Aサイクルを回し、これらの計画を着実に遂行していくます。また尚一層、学生一人ひとりが聖隸の精神を持つた専門職業人として成長し、社会に貢献できるよう学生教育に努めて参ります。今後とも皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

2017年度卒業生・修了生の就職状況（2018年6月現在）

高校との連携プロジェクト事業について

リハビリテーション学部

理学療法学科では、聖隸クリ

ストファー高等学校野球部

男子サッカー部を対象に、高

大連携プロジェクト部活動

サポート事業を実施してい

ます。この取り組みは、高校

生のケガ予防やパフォーマ

ンスの向上を目的として、

根地嶋誠准教授、学生が主体

となつて取り組んでいるプ

ロジェクトです。高校生の柔

軟性、筋力やパフォーマンス

を測定した後、結果のフィー

ドバックとトレーニング指

導を行い、日ごろの部活動に

活用していただいています。

学科は、4名が公立保育園・幼稚園に就職しました。45名が保育教育論などとしてこども園や保育所、福祉施設など分野に就職しました。リハビリテーション学科は、5名、聖隸福祉事業団に18名が就職しました。※就職率は、就職希望者に占める就職者の割合です。

学 部	学 科	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数	就職率
看 護 学 部		158	7	150	150	100%
助産学専攻科		17	0	17	17	100%
社会福祉学部	社会福祉学科	38	0	37	37	100%
	介護福祉学科	16	1	15	15	100%
	こども教育福祉学科	47	0	45	45	100%
リハビリテーション学部	理学療法学科	39	0	39	39	100%
	作業療法学科	35	0	34	34	100%
	言語聴覚学科	18	0	18	18	100%

野球部では、筋力などの測定に加えてバットスイングや投球速度などのパフォーマンスの測定も行っており、双方を関連付けてトレーニングや身体の使い方についてアドバイスしています。

男子サッカー部では、大学院修了生の久保裕介さんによるアドバイスを通じて個人の課題を明確にし、それぞれに応じたトレーニング指導を行っています。



▲センサーを用いて瞬発力の測定の様子



▲大腿四頭筋の筋力測定の様子

TOPICS

聖隸クリストファー中・高等学校

中・高等学校の グローバル教育の推進を

聖教クリスチ会中・高等学校 校長 芳城久一

中・高等学校は、2020年開設予定の聖隸クリス

ジョンコース（仮称）設置を進めます。同コースは英語イマージョン教育と国際的教育プログラムである国際バカロレアの設置を目指します。



2018年度入試は、国公立大学に過去最高の29人（過年度生3名含む）が合格しました。北海道大学・横浜国立大学・首都大学東京を始め、地元の静岡大学・浜松医科大学・静岡文化芸術大学・静岡県立大学などに合格しました。私立大学では、聖隸クリスチファード大学の37人を始め、難関私立大学（早慶上智・ICU・明治・青学・法政・関学・立命館）に18人合格しています。大学合格者数は、のべ283人に上っています。

セミナーハウスは、学習環境の整備のために2年前の8月に校舎東側に完成しました。放課後の自習室・生徒との面談・勉強合宿の場などのために積極的に利用されています。特に、高1のクラス単位のオリエンテーション合宿では、クラス作りや生活習慣を身に付けるために活用されています。セミナールームは、授業・合宿・出願窓口会などで使用し、学力の向上・意識付け・准

校説会がとくに使用した方の回一覧説作成しておきます。
路選択の打合せなどにおいて効果的です。

2018年度入試 (2018年春入学)の結果と セミナーハウスの活用状況

本校男子バレー部は6月初旬に行われた県大会決勝において浜松市立高校と対戦し、3年ぶり13回目の優勝を果たすことができました。男子バレー部は7月26日

(木)より三重県にて開催される全国大会に出場します。また少林寺拳法部は5月下旬に行われた県大会にて男女ともに総合優勝を果たし、男子は15連覇、女子は5連覇10回目という優秀な成績を収めました。少林寺拳法部は8月3日(金)より愛知県にて開催される全国大会に出場します。放送部はN H K杯高校放送コンテスト県大会にてラジオドキュメント部門を勝ち抜き、7月24日(火)より東京都にて実施される全国大会に参加いたします。男子バレー部、少林寺拳法部、放送部とともに全国大会といふ大きな舞台で最高の結果を残せるよう、部員たちは日々修練を積んでいます。日頃よりご理解とご配慮をいただいているすべての方々に心より御礼申し上げます。





**男子バレー部、少林寺拳法部
放送部 全国大会出場**

TOPICS



▲タイとベトナムからの留学生です。

外国人留学生受け入れについて
専門学校1期生が卒業しました。どの学生も希望に満ち溢れ、豊かさを身につけ希望の法人に就職していました。また、3名の卒業生は本学介護福祉学科に編入学しました。そして、卒業生のほぼ全員が卒業後に母校を訪れてくれました。特に初めて給料をいたいた日には、卒業生たちは教員と後輩たちへのお菓子を手土産に本校に戻つてくれました。卒業生たちの温かさに触れ教員はとても感動し、嬉しさで泣き出しそうになりました。慣れない職場で困難に直面した時はいつでも帰つてきてくださいと、送り出すときに教員が何度も口にした言葉ですが、それが実現しています。いつにも関わらずこの母校を頼つて欲しいと願っています。

今年より留学生が2名入学しました。難しい専門用語を授業後に教員が補講をしたり、ベトナム人のサポート教員を採用したり、外国人留学生に詳しい研究者を招いたりと、留学生を受け入れるに当たり、留学生が楽しく分かりやすく学べる環境作るために、教職員が一丸となつて考え作り出した仕組みが動き出しています。二人の留学生は同級生たちとすぐ仲良くなり、日本語も教えてもらつたりしています。グローバルな笑顔と笑い声が響く校舎になっています。

聖隸クリストファー大学介護福祉専門学校

聖隸クリストファー大学介護福祉専門学校

校長 横尾 恵美子



▲卒業生が初任給で差し入れてくれました。

初めての卒業生輩出と外国人留学生受け入れについて

TOPICS

クリストファーこども園



▲外国人の先生と



▲園児による英語劇

こども園の近況について

クリストファーこども園 総園長 太田 雅子

英語で子どもたちに関わる新しい2名のスタッフ（ノエミ先生・ポール先生）が入りました。保育アシスタントとして通常の保育を担当します。もちろん英語のみで話しかけます。子どもからの質問に対しても英語で応えます。例えば、給食の配膳のときに、「机を拭いてください」、「椅子を5個ならべてね」、「おかずはどのぐらい欲しい？ もつと多く？」等といったような、食事の準備から食べる過程で必要になってくる、やり取りを英語で聞いたり話したりします。

左下の写真は、昨年度、英語活動の一環として、5歳児クラス（らいおん組）が英語劇にチャレンジしたときのものです。劇をするために、英語のセリフを繰り返し覚えさせたのですが、子どもたちと日本語で十分に味わい、登場人物の気持ちや、物語の背景などを子どもたちと一緒に考え、どんなセリフが言いたいか、話し合いました。それらを英語ネイティブの先生が子どもたちの言いやすいセンテンスに変えて下さり、自分たちが表現したい内容を英語という言語で伝えました。



▲ラーニング・ストーリー：各保育室前に置かれています。

遊びを通しての学びの質を高めるための取り組み

保育の評価として、子どもの成長・発達の理解と保育者自身の援助・指導の改善の為に「ラーニング・ストーリー」を記録簿・アセスメント・ツールとして活用しています。保育者の、子ども観・保育観の統一・共通認識のためにクリストファーこども園では導入して3年目に入りました。遊びの質を高める上では、これらの記録を基に、子どもたち一人ひとりに対する理解を図り、個々の良さや可能性を把握し、次の保育・環境構成や援助・指導の方針を考える必要があります。

また、子どもの学びを深め・広げるためには環境の構成・再構成が鍵となります。これまで、遊びの環境構成として、多様な素材や教材を吟味し十分に用意することをしてきました。その結果、子ども自らが遊びの中に取り入れ、活用する様子が見られるようになりました。さらに遊びを通しての学びが発展するためには、必要な素材・道具が見やすく分類されていること、取り出しやすいこと、動線や安全への配慮が求められます。現在そのための教材庫や保育室の整備を行っています。

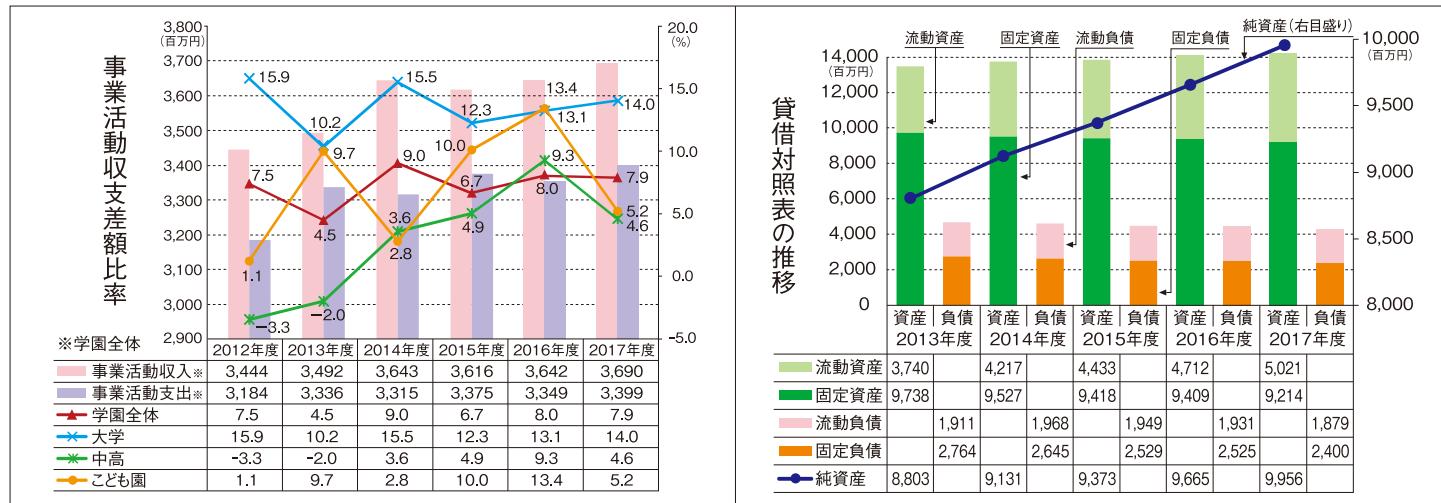


▲ラーニング・ストーリー：子どもたちが手に取って見ることができます。

2017年度決算における財務状況および2018年度予算の概要

◆2017年度決算について

- 1.学校法人の事業は中長期経営計画に基づいて推進しており、2017年度の財務状況は学園全体の収支(事業活動収支差額)がプラス7.9%（2億9078万円）と計画を上回って改善しております。(大学法人の全国平均値は4.7%です。)※事業活動収支差額は損益計算書の当期利益にあたります。
- 2.2017年度末の総資産142億3539万円に対し、有利子負債は21億651万円となりました。
- 純資産額についても2億9078万円増となり、学園新規事業用財源も28億2725万円確保できる見通しとなりました。

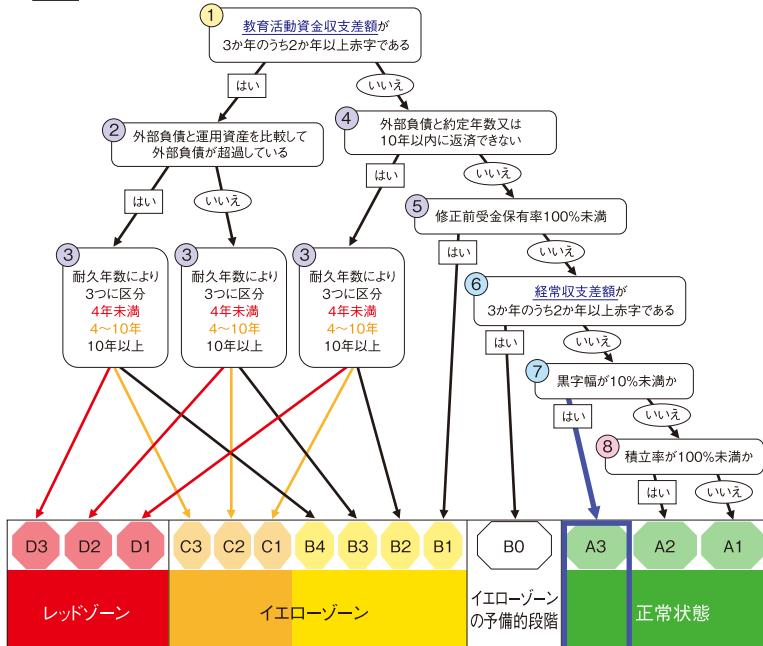


各学校の状況

- 小学校校舎建設用地を取得しました。2018年度からは校舎建築工事を開始する予定です。
- 大学の収支は安定した状況を継続しております。文科省の「経営強化集中支援事業」および「改革総合支援事業」に2年連続採択され、補助金交付額が増加しております。その他、学園のシンボルツリーとして、ヒマラヤ杉を植樹し、イルミネーションを飾り、学園全体で点火祭を行いました。また、学園では、環境への配慮、省エネ対策として、校舎等照明のLED化を計画的に進めており、大学1号館はすべて取替工事を終えました。
- 開設2年目の専門学校はまだ収支がとれませんが、卒業した1期生全員が就職・進学することができました。
- 中・高等学校は、2017年度は、補助金制度を利用しながら、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、施設設備の改善を行いました。主な事業は、中高体育館照明のLED化、校舎玄関の防滑工事、自動ドアへの変更、スクールバスの取替更新を行いました。
- こども園は、安定して園児を確保できており、収支は安定した状況です。補助金を活用して基準を上回る保育者を配置し、保育の質向上に結びつけています。今後は、補助金と人件費のバランスをどのように保つかが課題となります。

◆経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、学校法人の経営状態を指標により14区分に分類しています。2017年度決算についてこの指標による判定の結果、本学園は上位から3番目のA3ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。



2018年度事業計画および予算の概要

予算は各学校の事業計画に基づいて編成し、日常の教育研究活動経費のほか、下記の内容について重点的に予算計上しています。

- グローバル人材育成に向けた新規事業、中長期経営計画の推進(法人)
- 聖隸グループ各法人・施設との連携(法人)
- グローバル化の推進と留学生の教育・生活支援のための基金の創設(大学)
- アクティブ・ラーニングの継続的推進(大学)
- 就職支援プログラムの充実、学生支援、リカレント教育(大学、専門学校)
- 「求められる介護福祉士像」を実現するための教育の充実(専門学校)
- グローバル化、ICT化等社会の変化に対応できる人材育成(中・高等学校)
- 地域から評価される、魅了ある学校づくりへの取組
- グローバル化と小学校接続に向けた保育の充実(こども園)
- 教育・学習・保育環境の整備
 - ①学生用および授業用Wi-Fi設備増強工事(大学校舎)
 - ②エアコン取替工事(大学2号館)
 - ③AV機器更新(大学1号館)

2018年度は上記のような事業計画に加え、特殊要因として小学校開設準備費用を計上しているため、法人全体の収支差額は▲915万円(事業活動収支差額▲0.3%)程度にとどまる見通しです。ただし、特殊要因を除けば1163万円のプラスとなります。すべては中長期経営計画に沿って進んでいます。



聖隸クリストファー大学 オープンキャンパス

8.4 土 8.11 土 8.25 土

11:30~16:00

看護学部
リハビリテーション学部
社会福祉学部
助産学専攻科(8/4、8/25のみ)

9.8 土

14:00~16:00

社会福祉学部

11.3 土

10:00~16:00

看護学部
リハビリテーション学部
社会福祉学部
聖灯祭・ホームカミングデー
同日開催

3.23 土

11:30~16:00

看護学部
リハビリテーション学部
社会福祉学部



聖隸クリストファー大学介護福祉専門学校 オープンキャンパス

8.4 土

11:30~16:00

8.11 土

11:30~16:00

8.25 土

11:30~16:00

9.8 土

14:00~16:00

10.20 土

14:00~16:00

3.23 土

11:30~16:00



聖隸クリストファー中・高等学校 イベント情報

高等学校イベント

7.29 日 9:00~12:00 オープンスクール

11.4 日 9:00~12:00 秋の体験入学

12.8 土 9:00~12:00 入試説明会

12.15 土 9:00~12:00 英数科・特進説明会

中学校イベント

8.25 土 9:00~12:00 オープンスクール

9.15 日 10.6 土 11.17 土 9:00~12:00 オープンスクール(授業見学)

9.21 金 11.9 金 18:00~20:00 ナイトオープンスクール

10.27 土 9:00~12:00 オープン模試【標準】【特待】

12.1 土 9:00~11:00 入試対策講座

※詳細および他日程につきましては各HPにてご確認ください。

大学教員採用情報

聖隸クリストファー大学では、本学ホームページで教員の採用情報を掲載しています。広く公募するとともに、本学で学び、建学の精神を理解した卒業生の中から、本学の教員として教育研究活動に意欲と熱意をもって教育に関わっていただける方を募集しています。

※詳細は下記HPにてご確認ください。

聖隸クリストファー大学ホームページ

◎トップページ トピックス [大学教員公募情報] 随時更新

◎WEBキャリア支援センター 求人情報



聖隸クリストファー大学 検索 お問い合わせ先: 聖隸クリストファー大学 総務部 TEL053-439-1400

聖隸テニススクール・英会話スクール

聖隸学園では地域の皆様への生涯スポーツおよび生涯学習の貢献を目的として、「テニススクール」および「英会話スクール」を開講しています。年度途中の入会も随時受付しています。※定員に達している場合もあります。

※詳細は聖隸学園HPにてご確認ください。

聖隸学園

検索

お問い合わせ先: 聖隸学園 法人事務局 企画部 TEL053-436-5311

